

北信濃里山通信 vol.21

2015年6月3日発行

ブナの森の絵本・・・「おしりのはっぱ」の発刊

当会の井田秀行会長（信州大学教育学部准教授）が、北信濃のブナの森を題材にした児童書（絵本）「おしりのはっぱ」をイラストレーターのさくらい史門さんとともに執筆され、先月、県内の出版社「オフィスエム」から発刊されました・・・

本書の帯の紹介文から・・・

ぷりっと みどりの おしりがひとつ♪ ぷり
っと ぷりっと おしりがふたつ♪♪ ぷりぷり
ぷりっと おしりがならぶ ならんだ ならんだ
おしりのはっぱ…。

雪どけの春にざわめく生命の鼓動。雨音はずむ
新緑の森。ブナの宝庫＝北信州発！いつもどこか
でいのちが受け継がれている森のにぎわいを、シ
ンプルなテキストに乗せて、子どもたちに伝える
科学絵本です・・・



以下、出版に際して井田会長からのメッセージです。

ブナのはっぱは、おしりのはっぱ！ リズミカルな言葉にのせて、さくらい史門さんの
素敵な絵がブナの森の営みを物語ります。舞台のモデルとなったのは、もちろん北信州の
ブナの森。僕が一番伝えたいメッセージは、“ブナの森へ行こうよ！” ブナの森に行ったら、
まず「おしり」を探す。自然への入り口は、それで充分です。科学絵本ですが、読み
聞かせを意識したので専門用語はいっさい使わず、そのかわり英訳をつけて、言葉遊びを
楽しめるようにしました。

僕がブナに惚れ込み研究を始めたのが大学4年生の時、それから約25年。大好きなブ
ナの魅力を多くの人に伝えたいという長年の思いが、晴れて実現しました。じつはこの絵
本、僕も含め自称イクメン3人で作り上げています。さくらい史門さんが僕らの思いを見
事に表現し、オフィスエムの編集担当・鴨林克彦さんがスッキリまとめあげました。そん
な僕ら3人の、親としての思いも詰まった絵本です。

ブナのはっぱは、おしりのはっぱ！ ついとうっかり、そう口ずさんでいただけたならば、
最高にうれしいです。

.....
オフィスエムの科学絵本シリーズ第3弾！「おしりのはっぱ」

1,300 円（税込価格1,404 円）

作・井田秀行 絵・さくらい史門 英訳・Robert Zane Grey 弓場ます美

2015年5月15日 発行A5判横開き 32ページ

ISBN:978-4-904570-93-0

県内書店、オフィスエムHP、アマゾン等ウェブサイト等で発売中。

『おしりのはっぱ』の発刊記念として、5月16日に「ブナの森・親子観察会”おしりのはっぱ”に会いに行こう！」が、なべくら高原・森の家周辺のブナ林で開催されました。

著者の井田先生のガイドでブナ林を散策、本年はブナの展葉も早く、お尻のようなブナの葉っぱ（外の縁どり）の形が確認できました。ブナの落ち葉が厚く積もった林床で絵本の読み聞かせが行われ（写真）、井田先生のホームグラウンドとも言えるブナ林の解説にも聞き入っていました。

ブナ林散策では、満開のユキツバキのほかヤマナメクジやモリアオガエルなどの森の生きものたちにも出会え、子供たちもご満悦のようでした。



お知らせなど

・「第4回・オオルリシジミ親子観察会」

前号でもお知らせしましたが、本年も「オオルリシジミ親子観察会」を行います。6月21日（日）実施分は募集定員に余裕がありますので、希望者はこれからでもお誘い合わせの上お申し込みください。

【日時・場所】 6月21日（日）午前8:30～12:00 飯山市内の生息地

【集合場所】 飯山市公民館（飯山市飯山1436-1）

【日程など】 8:30から受付、9:00開会。9:20頃にバスで生息地へ移動します。

※参加者にはオオルリシジミの観察とモニタリング調査（目視数をカウント）を実施していただきます。

【申込み】 飯山市教育委員会学習支援課（当会事務局・TEL：0269-62-3342）へ6月15日までにお伝えください。

【その他】 山歩きに適した服装でお越しくください。小雨決行です。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

・信越トレイル「自然環境調査」

信越トレイルは長野・新潟県境の関田山脈の尾根上にある全長80kmに及びロングトレイル（登山道や林道などをつなぎ合わせた自然歩道）です。トレイルの整備や維持管理はNPO法人信越トレイルクラブ（井田会長はクラブの顧問）が主体となり、ボランティアの方々の協力によって行われています。

信越トレイルクラブでは、トレイルの持続的な利用と自然環境保全の両立を図っていくため、自然環境調査を以下のとおり予定しています。観察会を兼ね、主に動植物の生息調査を行いますが、ボランティア参加者を募集しています。お問い合わせ、参加希望は信越トレイル事務局（なべくら高原・森の家内 TEL:0269-69-2888 <http://www.s-trail.net/index.html>）まで。

少雨決行です。事務局の福本は昆虫類の調査で参加を予定しています。

【期日・調査場所】

6月27日（土） 信越トレイルセクション5：関田峠～伏野峠

6月28日（日） 信越トレイルセクション6：伏野峠～天水山

【集合（解散）時間・集合（解散）場所】

8:00から受付開始、8:30に出発。セクション5は16:00、セクション6は17:00に解散予定。集合（解散）場所は、「なべくら高原・森の家」です。

【持ち物など】 山歩きに適した服装・靴（トレッキングシューズ）雨具、日よけ（帽子）、弁当、飲み物など。

・天然記念物「黒岩山」保全協議会の活動

黒岩山保全協議会の平成27年度総会が5月29日に開催され、本年の事業計画などが承認されました。ギフチョウと最近は少ないヒメギフチョウの混生地での保全活動が行われ、オオルリシジミの食草・クララの増殖作業にも御協力いただきます。

本年の黒岩山の森林整備作業の実施日は6月28日（日）、7月26日（日）、8月23日（日）、9月20日（日）、10月18日（日）ですので、御協力いただける方の御参加を歓迎します。

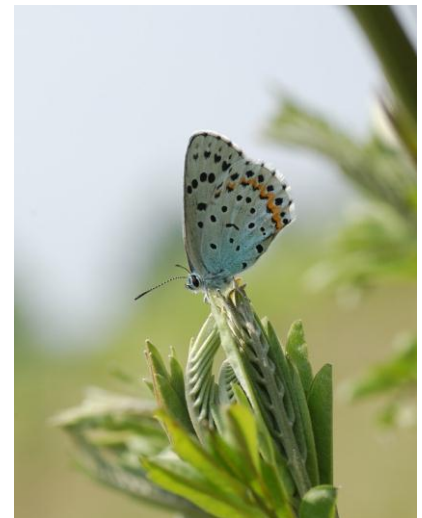
・オオルリシジミ生息域外保全の放蝶作業

オオルリシジミの生息域外保全として、5月10日に戸狩地区で蛹を放飼（土中設置）する作業を行いました。本年の放蝶頭数は60頭、前年同様、土を入れた植木鉢の中に蛹を置き（10鉢に蛹を6頭）、蝶が出られる程度の間隙を設けたふたをして、鉢を土中に埋め込み、枯草で覆います（下の写真）。



当日は看板を設置し、作業を終了しました。

当地では5月29日から成虫が観察され始め、5月30日には10頭以上が観察されました。一部に羽化途中のクモによる食害？もあったようですが、順調に発生しているようです。以下は会員の花崎さんからの写真と観察記録です。



『5月29日、8時すぎから1時間観察。オオルリシジミが舞い出し、少なくともみ2♀2が羽化、とても綺麗。一度に、視界に3匹をのべ2回、交尾のための追尾シーンを何度も目撃。確認場所は蛹を放した斜面とタニウツギ（ピンクの花）の株付近がほとんど。9時で気温が上がり、かなりの速度で飛翔。クララは、腰くらいの丈。花は極めて少なく、タニウツギ、スミレが見られる程度。』・・・今後、昨年放したものの自然発生が確認できればです・・・。

・オオルリシジミ生息地環境整備

5月23日に看板設置と保護区域のロープ設営、5月30日に監視カメラの設置と観察会準備のため刈り払い作業を行いました。作業は滞りなく終了、草が刈られスッキリきれいになりました（下の写真）。6月21日の観察会に向けて観察道の整備も進めます。



観察道には一部に足場の悪い箇所もあり、グレーダーによる整地作業を飯山市にお願いしたところで、6月に行ってもらえそうです。

また、生息地のカヤ場利用を進めるため、カヤの搬出路の整備も今後実施していきたいと考えています。ちなみに昨年採取したカヤは、先日すべて茅葺き業者の「小谷屋根」さんに引き取ってもらい、今年は採取量を増やしたいと思っています。

生息地のオオルリシジミは、5月30日に2頭観察され、本年初確認。その後、6月2日にも3頭を確認しました。5月の気温が高かったため、例年よりも早い発生で、クララの生長もかなり進んでいる感じです。

6月半ば過ぎ、クララの挿し木を行う予定です。

編集後記

5月は夏のように暑い日が続き、春はあっという間に終わってしまった感もありました。

東御市北御牧地区でも5月30日にオオルリシジミの観察会が行われ、大盛況でしたが、例年よりも発生が早く、飛び古したものも多かったようです。こちらの観察会（6月21日）も少し状況が気になるところです。

さて、九州のオオルリシジミですが、熊本県その他、絶滅したと思われていた大分県で数年前に再発見されていたそうです。1日の観察数は多くて10頭程度（飯山と同じような状況・・・）、採集の規制はなく、一部コレクターに採集地の情報が知れ渡っており、再び絶滅が危惧されているところのようです。大分県では調査をしながら保全策を検討することのようですが、当会も所属する「オオルリシジミ研究会」では、保全に対する要望書を作成、当会も他の保護団体と連名で大分県に対し要望書を提出する予定です。全国的にも保全の機運が高まればと思います。

飯山市教育委員会で、当会の会計事務を担当された栗岩ゆかりさんが本年3月で退職されました。栗岩さんには適切・的確に業務をこなしていただき大変助かりました・・・会の仕事をされた2年間、お疲れさまでした。栗岩さんの後任は青木明美さん、また、飯山市の「地域おこし協力隊」の矢内将人さんには保全作業などに参加していただき、力強い味方を得て、本年の活動が進められそうです。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1436-1
飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp
編集者・事務局長：福本匡志